

いのち生かされる

魂の祈り 【後編】

体重60kgの人は、約60兆個の細胞を持つている。ヒトの細胞一個の核に含まれる遺伝子の基本情報量は30億の化学の文字で書かれており、これをもし本にすると、本3千冊分になる。1冊千語で千冊の本3千冊分になる。これだけの膨大な情報量を持った遺伝子が、60兆個の細胞1つ1つに全く同じ情報として組み込まれていると。一番驚いたのは「人間のDNAのうち、実際に働いているのは全体のわずか5割程度で、その他の部分はまだまだよく分かっていない。つまりまだオフになっている遺伝子が多い」というところでした。まだ眠っている95割の遺伝子のうち、どれか1つでもスイッチを入れる事が出来たら、今より少しだけでも元気になるかもしれない。そう思ったら本当に嬉しくなって絶望なんてしてられない！私にだってまだ希望はある！と思えた。「お父さんの染色体が23個でお母さんの染色体が23個。1組の両親から生まれる子供には70兆通りの組み合わせがある。最初の生命が生まれる確率は、1億円の宝

くじに百万回連続して当たる確率とほぼ同じ」だと・・・これは想像を絶する世界です。さらに「人間は生まれてきただけでも大変な偉業を成し遂げたのであり、生きてるだけで奇跡中の奇跡なのだ」というのを読んでいたら、人間として生まれた事が嬉しくてしかたがなくて。地球上にいる全ての人が奇跡の存在だと思おうと、なんだか愛おしいやら嬉しいやらで、光り輝く地球を思いきり抱き締めていました。そのキラキラと輝いている地球をよく見ると、人なんです。でもそれ以上に輝いているものがいて、それが動物たちでした。そんな風に世界が見えてきた瞬間、私の中に思い浮かんだのは、「私達は生きているのではなく、生かされているんだ」というとても純粋な思いでした。その時は感動と喜びで涙が止まりませんでした。その時に思ったのは、あとどれくらい生きられるか分からないけど、ずっと私を支えてきてくれた60兆個の細胞の中にある遺伝子1つ1つにお礼を言おうということでした。最初はガンでない部分から始めました。「見える目にありがとう。聞こえる耳にありがとう。動く手にありがとう」。体のどの部分にどれくらい細胞と遺伝子があるかなんて分かりませんでした。とにかく「ありがとう」を言い続けました。そのうちに夜が明けてきて、治療の時間

が近づいてきた頃には、癌細胞にも「愛しているよ。今まで私の細胞でいてくれたんだから消えなくていいよ」と言っていました。そうしたら不思議な事が起こりました。あんなに痛くて苦しかった「ラルス」が、2回目の時には全く痛くなかったんです。3回目の治療の時もやはり同じでした。そしてその間も、とにかく寝ても覚めても四六時中「ありがとう」を言い続けていました。その後いったん家に帰る事が出来て、1ヶ月半後に病院で検査を受けました。そうしたら主治医が私のレントゲン写真を診て笑っているんですよ。それも声を上げて。そして私の方を振り向いて「綺麗になっている」っておっしゃった。ガンが消えた！私は思いました、これはきつと「ありがとう」の力のお陰だ。 「ありがとう」という言葉にはきつと特別な力がある。そう確信が持てるようになったのは、この時だったと思います。

ただ、喜んでいられたのも束の間で、別のレントゲン写真で癌が子宮から肺と肝臓に移転している事が分かった。それも各臓器の専門の先生が言うには、この状態で普通に起きていられる人を今まで見た事がないと。主治医からは「子宮が綺麗になったのだから、抗がん剤を使いたい」と言われた。ただし治る確率は百に一つあるかどうか。そのためにまた苦しい思いをするのなら、せめて残された時間を家族と過ごしたいと思いましたが、このまま何もしなければ1ヶ月ももたないだろうと言われました。随分迷いましたけど、「少しでも可能性があれば治療してみよう」という主治医の言葉に背中を押されて、抗がん剤治療を受ける事にした。抗がん剤治療は9月～11月までの間に6回受けましたが、治療期間中は寝ても覚めても痛くて苦しくて、いつ終わるともしれない苦しみに負けそうになりましたけど、その間もずっと「ありがとう」だけは言い続けました。そのうちに髪の毛がごっそりと抜け落ちましてね。ビックリしてすぐにゴミ箱に捨てようとしたんですけど、この1本1本も私の体の一部だっと思うとどうしても捨てる事が出来なくて…。それで1本1本の髪にも「ありがとう」とお礼を言うてから捨てる事にした。髪の毛って十本本くらいあると言われているので気が遠くなるような思いでしたけど、時には徹夜をしても言い続けました。でもそうやって続けていると、ある時、有り難い気持ちが小さな雪のように心に積もってくる感じがして、とうとうそれが溢れ出てきた。そうしたらとてもイイ気分になって、生きるとか死ぬとかいうこともどうでもよくなっ

まった。そして遂に髪の毛が1本も無くなった時のことですが、息子が私に向かつてこう言った。「お母さん、この特別な状況を楽しまんといかんよ」って。それから息子がプレゼントしてくれた金髪のかつらを被って、お化粧をしてお洒落もして外に出るようにしました。とにかく毎日を少しでも楽しもうと。それから近くに住んでいる人が朝日を浴びるといよと教えてくれたので、毎朝目覚めると「70兆分の1の奇跡で今日も生かされています。ありがとうございます」と言っているから朝日を浴びに外に飛び出していました。そのうちにどんどん体が軽くなっていくのに気づいたので、翌年の2月末に病院で検査をしてもらうことにしました。そうしたら、何とガンが跡形もなく消えていたんですよ。主治医も本当に驚いていました。「今までこんな瘰癧は見事がない」って、最初の癌が見つかったから、ちょうど10ヶ月目のことでした・・・

【生命の暗号】の著者：村上和雄氏は、以下のような希望を語っている。

遺伝子のオンとかオフというのは、現代化学の成果なんですけど、まだ仮説の部分がある。「心を養えたら遺伝子のスイッチがオンになる」と言っていますけど、それはまだ一部しか証明さ

れていない。ガンと遺伝子については、癌を起こす遺伝子と癌を抑える遺伝子の2つがある。そして癌を促進する方の遺伝子がオフになって、抑制する遺伝子がオンになることで癌が治るのではないかというのを僕は前から考えていたんですが、それが実例として出てきたのは非常に有り難く、そして嬉しいことです。とにかく「ありがとう」と言い続けることで癌が治った人が目の前にいるということは、1つの希望になるのではないかと思っている。一人でも多くのガン患者さんに工藤さんの貴重な体験を伝えていてほしい。

自分の奥深くまで届くような
《我を忘れる深い祈り》は、眠っている潜在的な力を呼び起こすのです

合掌 副任職 谷川寛敬

“大笑い”して
心も体も元気に
なしましょう！

第7回
おてらく
～真成寺お気楽演芸会～

日 時/ 令和元年 7月20日(土)
開演 午後1時30分(開場午後1時)

会 場/ 真成寺 本堂
入 場 料/ 無 料

出 演/ タブラボンゴ魚津
社会人芸術家集団「ばららく」より
川中奈丸、ぶう風亭みるみる

【お問合せ】
玉蓮山 真成寺
〒937-0867 魚津市真成寺町4-6
TEL(0765)22-2268



駐車場はございますが、限りがございます。
公共交通機関のご利用にご協力ください。

日 時：令和元年7月20日(土)
開 演：午後1：30 (開場午後1時)
開 場：真成寺 本堂
入 場 料：無 料

どなた様も出入り自由！
お待ちしております～す！！

来月の
ご案内です

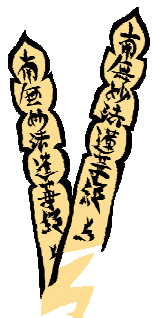


◎お盆施餓鬼大法要

・八月十六日(金)

午後二時～

とうば
塔婆供養受付中！



8月13日～16日までが『お盆』期間です。『お盆』の最終日・16日の午後2時から、檀信徒一同が本堂に会し「施餓鬼(せがき)」法要を執り行います。